

劇を披露する「ババース」と演技
を見学する子どもたち＝13日、福
井市蔵作町

劇団
ババース

演劇の妙「孫」に伝達

福井 関西の小中生と交流



是より蔵作町

福井市中手町の旧上味見小学校舎で演劇創作活動に取り組んでいる大阪や京都、兵庫の小中学生十五人が十三日、地元美山地区のお年寄り劇団「ババース」と交流した。子どもたちは五年生から中学二年生まで、同市のNPO法人自然体験共学センターが企画した「廃校を活用した生活体験と演劇創作事業」に、

十日から七泊八日の日程で参加。劇の創作やけいこ、発表までを自主的にやっている。

この日は、同市蔵作町の集会所で、ババースが同町に伝わる民話を題材にした「仏になった大泥棒」を披露。子どもたちが「演技の中で大切なことは何ですか」などと質問すると、団員たちは「役柄になりきって堂々と演じること」と答え、演技のコツなどをアドバイスした。京都府醍醐中学校二年の加藤勇希君(三)は「劇は年齢

に関係なく楽しめること
を実感した」と話してい
た。

子どもたちは活動の集
大成として十六日午後二
時に伝わる民話を題材にし
た劇の公演を行う。